

# 地域緩和ケア連携調整員フォー ラム

薬剤師の立場から

(有)キムラ薬局 中島 美紀

演題名：地域緩和ケア連携調整員フォーラム

所属：(有)キムラ薬局

別府市薬剤師会

名前： 中島美紀

本演題に関連して、筆頭演者に開示すべき経済的利益相反はございません。

学術的利益相反事項：日本プライマリケア連合学会利益相反委員会委員  
日本緩和医療薬学会 教育研修委員会 麻薬教育担当委員  
日本癌治療学会 がん診療連携・がん医療ネットワークナビゲーター委員会 委員  
日本臨床腫瘍薬学会 会員委員会委員

# 自己紹介

- 2001年 東京都立大学 法学部法律学科中退
- 2011年 福岡大学薬学部医療薬学科卒業
- 2012年 キムラ薬局 入社 現在に至る
- **【資格】** プライマリ・ケア認定薬剤師、がん治療ネットワークシニアナビゲーター、スポーツファーマシスト、老年薬学会認定薬剤師、簡易懸濁法認定薬剤師、大分県がん薬物療法認定薬剤師、地域薬学ケア専門薬剤師（がん）



# 私の働いている薬局

- 230床の病院の門前の薬局です。
- 1日の平均処方せん受付枚数は100枚前後
- 健康サポート薬局（平成29年8月～）
- 専門医療機関連携薬局（がん）（令和3年8月～）
- 地域連携薬局（令和3年11月～）



# 本日の内容

- 地域包括ケアにおける薬局の機能と「薬剤師」の関わり
- 第4期がん基本対策計画における薬剤師の役割と可能性
- 在宅緩和ケアにおける連携の重要性
- おまけ～とある保険薬局の1年～

# 地域包括ケアにおける薬局の機能と 薬剤師の関わり

# 厚生労働省 地域における薬局・薬剤師のあり方について

21日 第8回 薬局・薬剤師の機能強化等に関する検討会



## 健康サポート薬局



- かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能を有し、
- 地域住民による主体的な健康の維持・増進を積極的に支援する薬局
- 都道府県知事等に届出を行い、薬局機能情報提供制度に基づき公表。

※平成28年10月から届出開始。令和6年3月末現在、3,195薬局が届出

地域包括ケアシステムにおける地域住民の身近な健康の相談相手

※「積極的な支援」とは

- ① 医薬品や健康食品等の安全かつ適正な使用に関する助言
- ② 地域住民の身近な存在として健康の維持・増進に関する相談を幅広く受け付け、適切な専門職種や関係機関に紹介
- ③ 率先して地域住民の健康サポートを実施し、地域の薬局への情報発信、取組支援も実施

### かかりつけ薬剤師・薬局の基本的機能

- ① 服薬情報の一元的な把握とそれに基づく薬学的管理・指導
- ② 24時間対応、在宅対応
- ③ かかりつけ医を始めとした

### 健康サポート機能

- ① 地域における連携体制の構築
- ② 薬剤師の資質確保
- ③ 薬局の設備
- ④ 薬局における表示
- ⑤ 要指導医薬品等の取扱い

薬剤師のあり方について（第8回）

令和6年8月21日  
厚生労働省 医薬局

# 健康サポート薬局→健康増進支援薬局？



## 【薬機法改正】健サポ薬局→「健康増進支援薬局」として認定薬局に

【2025.01.27配信】厚生労働省は1月27日、自民党厚労部会に次期薬機法改正の内容について説明した。その中で、これまで“届出制”だった健康サポート薬局について、「健康増進支援薬局」として認定薬局に加える考えを示した。

Post

いいね! 0

B! 0

Pocket 0

お気に入り

都道府県都知事が認定する「認定薬局」はこれまで「地域連携薬局」と「専門医療機関連携薬局」の2つがあった。これに「健康増進支援薬局」を加える。認定薬局は3つ目となる。

「健康増進支援薬局」は地域住民からの健康相談などを受ける薬局を想定する。

厚労省資料では、「外来患者への調剤・服薬指導、在宅患者への対応、医療機関や他の薬局等との連携、地域住民への相談対応等の薬局に求められる基本的な機能を有し地域住民による主体的な健康の維持・増進を積極的に支援する薬局を都道府県知事が健康増進支援薬局として認定し公表する」とした。

健康相談機能を有する薬局としては、届出制の健康サポート薬局があったが、認知度や届出軒数の少なさなどが課題になっていた。厚労省としては認定薬局にすることで、これまで以上の認知度向上を図りたい考え。



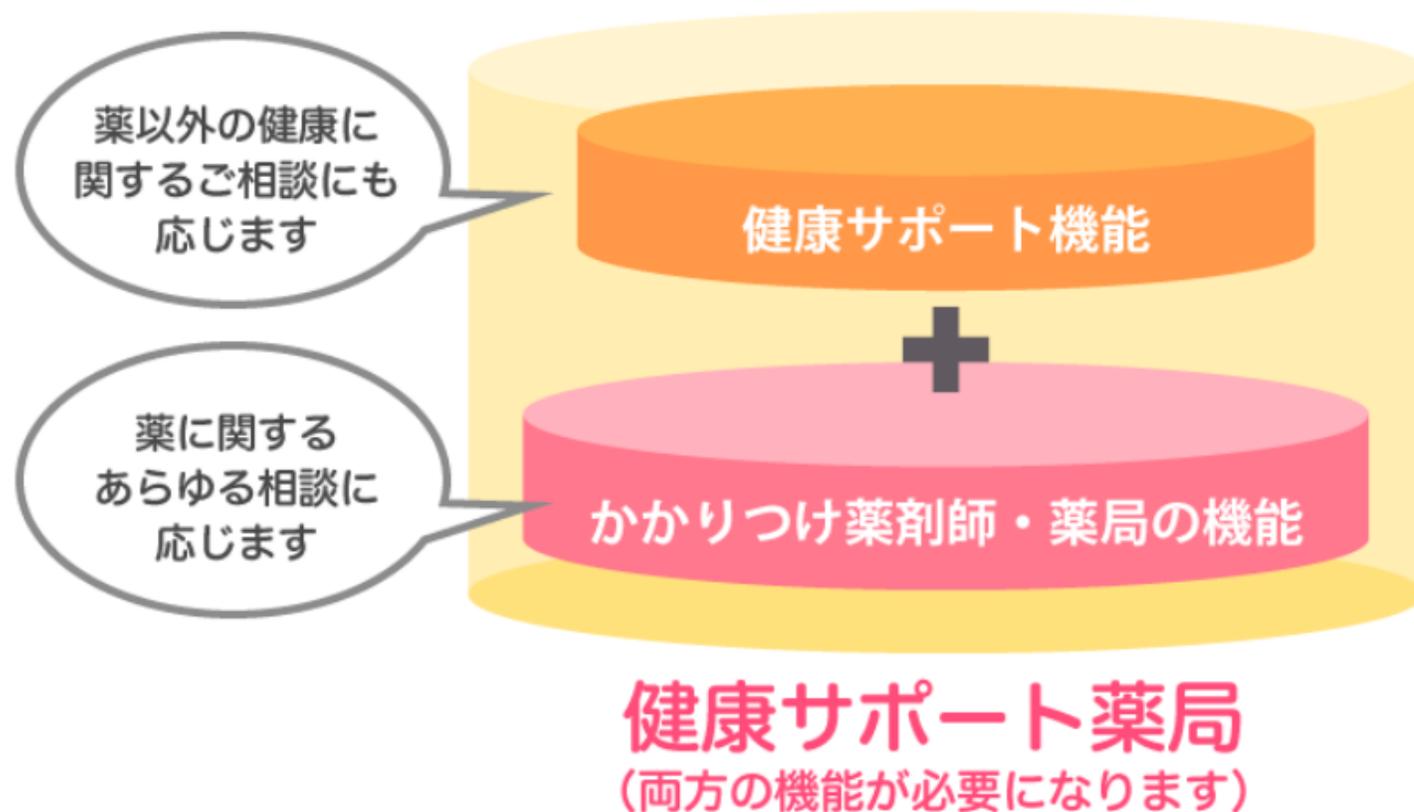
## 健康サポート薬局の役割

### 役割について

健康サポート薬局では、薬に関する相談はもちろん、健康に関することや介護用品などに関する相談にも応じます。

厚生労働大臣が定める一定の基準をクリアし、都道府県知事に届出を行った薬局だけが「健康サポート薬局」として表示することができます。

※一定の基準：薬剤師の資質（一定以上の経験年数、研修受講など）、薬局内の設備、アクセスしやすい開店時間の設定など



## 「健康サポート薬局のあり方について」

（平成27年9月健康情報拠点薬局（仮称）のあり方に関する検討会報告書（抜粋（一部改）））

### 3. 健康サポート機能を有する薬局の機能について

健康サポート機能を有する薬局は、かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能を備えた薬局のうち、地域住民による主体的な健康の維持・増進を積極的に支援する薬局である。具体的には、

- 医薬品等の安全かつ適正な使用に関する助言を行うこと、
  - 健康の維持・増進に関する相談を幅広く受け付け、必要に応じ、かかりつけ医を始め適切な専門職種や関係機関に紹介すること、
  - 地域の薬局の中で率先して地域住民の健康サポートを積極的かつ具体的に実施すること、
  - 地域の薬局への情報発信、取組支援等を行うといった積極的な取組を実施すること
- などである。

### 6. おわりに

（略）健康サポート薬局は、その薬局だけですべての相談対応や支援を完結させるものではなく、地域住民の健康を支援するその役割を担う一機関であり、薬局で対応できない場合には、多職種や関係機関につなぐ機能が重要であることは言うまでもない。

また、健康サポート薬局であること、その基準を満たすこと自体が目的化するようなことはあってはならず、地域住民の健康意識を高め、健康寿命の延伸に貢献していくためには、健康サポート薬局には、安心して立ち寄りやすい身近な存在として、地域包括ケアシステムの中で、多職種と連携して、地域住民の相談役の一つとしての役割を果たすことが求められている。

# 特定の機能を有する薬局の認定

○ 薬剤師・薬局を取り巻く状況が変化中、患者が自身に適した薬局を選択できるよう、以下の機能を有すると認められる薬局について、都道府県の認定により名称表示を可能とする。

・入退院時の医療機関等との情報連携や、在宅医療等に地域の薬局と連携しながら一元的・継続的に対応できる薬局（**地域連携薬局**）



患者のための薬局ビジョンの  
「かかりつけ薬剤師・薬局機能」に対応

・がん等の専門的な薬学管理に関係機関と連携して対応できる薬局（**専門医療機関連携薬局**）



患者のための薬局ビジョンの  
「高度薬学管理機能」に対応

## 地域連携薬局



## 専門医療機関連携薬局

※傷病の区分ごとに認定  
(現在規定している区分は「がん」)



### 〔主な要件〕

- ・関係機関との情報共有（入院時の持参薬情報の医療機関への提供、退院時カンファレンスへの参加等）
- ・夜間・休日の対応を含めた地域の調剤応需体制の構築・参画
- ・地域包括ケアに関する研修を受けた薬剤師の配置
- ・在宅医療への対応（麻薬調剤の対応等）

等

### 〔主な要件〕

- ・関係機関との情報共有（専門医療機関との治療方針等の共有、患者が利用する地域連携薬局等との服薬情報の共有等）
  - ・学会認定等の専門性が高い薬剤師の配置
- 等
- ＜専門性の認定を行う団体＞
- 日本医療薬学会（地域薬学ケア専門薬剤師（がん））
  - 日本臨床腫瘍薬学会（外来がん治療専門薬剤師）

# 認定薬局の役割

## 地域連携薬局

- 外来受診時だけでなく、在宅医療への対応や入退院時を含め、他の医療提供施設との服薬情報の一元的・継続的な情報連携に対応できる薬局
- 他の医療提供施設（医療機関、薬局等）の医療従事者との連携体制を構築した上で対応することが必要。
- 地域連携薬局としては、他の薬局に対する医薬品の提供や医薬品に係る情報発信、研修等の実施を通じて、他の薬局の業務を支えるような取組も期待。

## 専門医療機関連携薬局（今回規定した「がん」の場合）

- がん患者に対して、がん診療連携拠点病院等との密な連携を行いつつ、より高度な薬学管理や、高い専門性が求められる特殊な調剤に対応できる薬局
- 専門医療機関連携薬局としては、他の薬局に対する抗がん剤等の医薬品の提供、がんの薬物療法に係る専門性の高い情報発信、高度な薬学管理を行うために必要な研修等の実施を通じて、専門的な薬学管理が対応可能となるよう他の薬局の業務を支えるような取組も期待。

# 薬局機能情報提供制度



名称	キムラ薬局【健康サポート薬局】 キムラヤクキョク Kimura Yakkyoku
開設者	木村 登久美
管理者	中島 美紀
所在地	874-0911 別府市緑丘町4組 ベップシムドリガオカチョウ 4, Midorigaokacho, Beppu City
TEL & FAX	TEL: 0977-21-3507 FAX: 0977-21-3517
ホームページ	※医療機関のホームページの内容については、医療機関が作成した情報であり、県が報告を受けて管理しているものではありません ホームページ: <a href="http://kimura-pharm.jp/">http://kimura-pharm.jp/</a> メールアドレス: <a href="mailto:miki134546333@silk.plala.or.jp">miki134546333@silk.plala.or.jp</a>
業務内容 (English, 中文, 한국어)	健康サポート薬局 無菌製剤処理 一包装 麻薬調剤 在宅調剤業務の実施 薬剤服用歴管理 電子薬剤服用歴管理の実施 お薬手帳の交付 電子お薬手帳への対応 専門医療機関連携薬局の認定(区分:「がん」) オンラインによる服薬指導の実施 電子処方箋に対する対応
取扱商品	介護用品の取扱い 介護用食品の取扱い 介護保険関連事業所等の紹介 各種検査薬の取扱い 市販調剤薬の取扱い

おおいた医療情報ほっとネット  
(病院、診療所、助産所、薬局案内)

大分県内の医療機関(病院、診療所、  
歯科診療所、助産所)・薬局の情報や、医療に  
関する情報を提供します。

Multilingual 言語を選択 Powered by Google 翻訳 テキストを調節できます。 S M L

インフォメーション >> 一覧

医療機関・薬局の名称で検索

1306043

メニュー

- > 操作方法
- > 用語解説
- > 関連機関へのリンク
- > 注意事項
- > お問い合わせ
- > サイトマップ

携帯サイト

左の二次元バーコードを携帯で読み取ると、携帯電話からもご利用いただけます。  
→ [サイト](#)

医療機関を探す

かんたん検索

↑診療科目、地域で探すことができます。

いろいろな条件で検索

↑対応可能な疾病・治療、予防接種などで探すことができます。

薬局を探す

かんたん検索

↑地域で探すことができます。

いろいろな条件で検索

小児科を探す

それぞれの薬局でな  
にができるのか、患  
者さんに合った探す  
ことが可能

# 保険薬局の機能のさらなる充実

- 治療や在宅医療、緩和ケアにおける患者さんに寄り添う態勢は整いつつある。
- 保険薬局の機能のさらなる充実のために地域住民へのがん検診や予防における情報提供について薬局が行うことは有用
- がん検診や予防においては医師会、行政との連携が必須

# 別府市医師会地域医療連携パス委員会CKD班

## 別府市方式「CKD連携」

- \* 別府市医師会(会長、副会長、担当理事等)
- \* 腎臓専門医、腎臓内科医 \* 糖尿病専門医
- \* **別府市薬剤師会** \* 大分県東部保健所
- \* 別府市 \* 企業

関係者参加

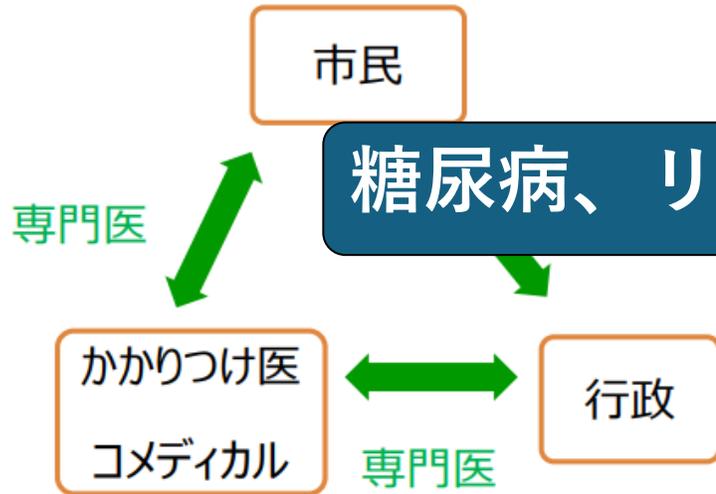
地域連携薬局  
専門医療機関連携薬局（がん）  
として参加

- 生活習慣病の**発症予防・早期発見・重症化予防**全てに「腎臓専門医」
- **腎臓専門医**が仲介役となってそれぞれの問題を共有化し解決策を共有

### カテゴリー毎のCKD班の対策

	健診受診	健診未受診
あり	* 保健・栄養指導の質の向上	* 健診の有効活用を高め、行政介入への理解を求める
か 医 な し	B(市民・行政) * 医療への受診勧奨 * 市民啓発(市民公開講座・公民館講演)	D(市民・行政) * 市民啓発(市民公開講座・公民館講演)

**糖尿病、リウマチ、がん領域において連携**



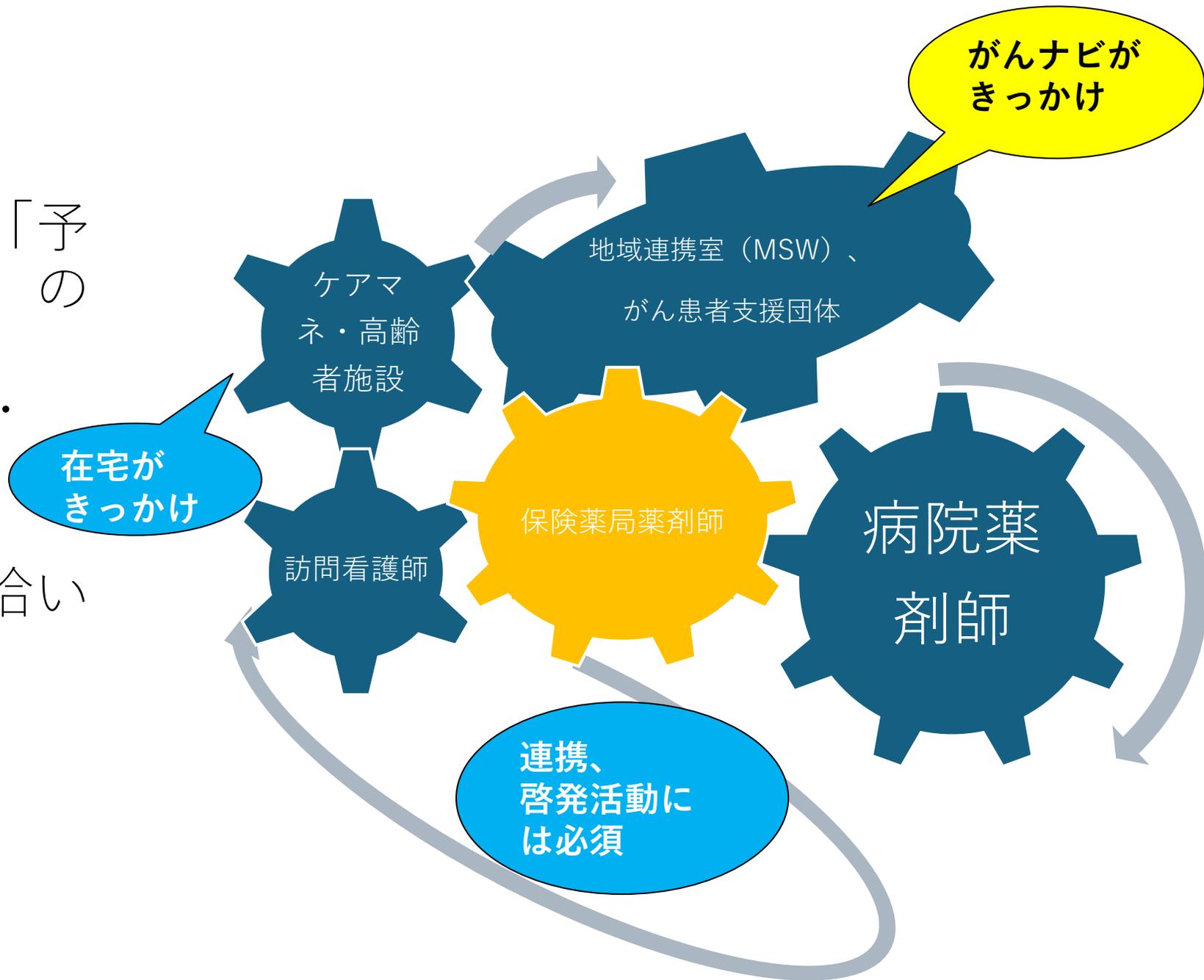
### CKD班 班長

国立病院機構 別府医療センター  
腎臓専門医 菊池秀年医師

別府市における重症化予防対策～別府市CKD対策での期待と課題～：別府市保険年金課資料

[その他毎月定例会議での協議内容]  
公開講座に向けた調整、新規企画提案・承認、事業の進捗管理、各機関の課題・提案のプレゼン、事例検討、データ分析など

地域包括ケアの中で「予防」「医療」「共生」の歯車を回すことができれば・・・という希望  
薬剤師として「思いのかけら」を拾い共有することが重要



# 第4期がん基本対策計画における 薬剤師の役割と可能性

# 第4期がん対策推進基本計画（令和5年3月28日閣議決定）概要

## 第1. 全体目標と分野別目標 / 第2. 分野別施策と個別目標

全体目標：「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」

### 「がん予防」分野の分野別目標

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す

#### 1. がん予防

- (1) がんの1次予防
  - ①生活習慣について
  - ②感染症対策について
- (2) がんの2次予防（がん検診）
  - ①受診率向上対策について
  - ②がん検診の精度管理等について
  - ③科学的根拠に基づくがん検診の実施について

### 「がん医療」分野の分野別目標

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

#### 2. がん医療

- (1) がん医療提供体制等
  - ①医療提供体制の均てん化・集約化について
  - ②がんゲノム医療について
  - ③手術療法・放射線療法・薬物療法について
  - ④チーム医療の推進について
  - ⑤がんのリハビリテーションについて
  - ⑥支持療法の推進について
  - ⑦がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
  - ⑧妊孕性温存療法について
- (2) 希少がん及び難治性がん対策
- (3) 小児がん及びAYA世代のがん対策
- (4) 高齢者のがん対策
- (5) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装

### 「がんとの共生」分野の分野別目標

がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

#### 3. がんとの共生

- (1) 相談支援及び情報提供
  - ①相談支援について
  - ②情報提供について
- (2) 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
- (3) がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）
  - ①就労支援について
  - ②アピアランスケアについて
  - ③がん診断後の自殺対策について
  - ④その他の社会的な問題について
- (4) ライフステージに応じた療養環境への支援
  - ①小児・AYA世代について
  - ②高齢者について

#### 4. これらを支える基盤

- (1) 全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進
- (2) 人材育成の強化
- (3) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
- (4) がん登録の利活用の推進
- (5) 患者・市民参画の推進
- (6) デジタル化の推進

# 地域の中で住民へのチャンネルは意外に多い



## 服薬指導

がんだけではなく投薬のシーンで「薬以外」の相談を受けることも



## 健康フェア、地域活動

薬局で行う健康フェアや老人会などでの講話



## 教育

学校薬剤師、学校から薬物乱用防止授業の依頼、インターンシップ



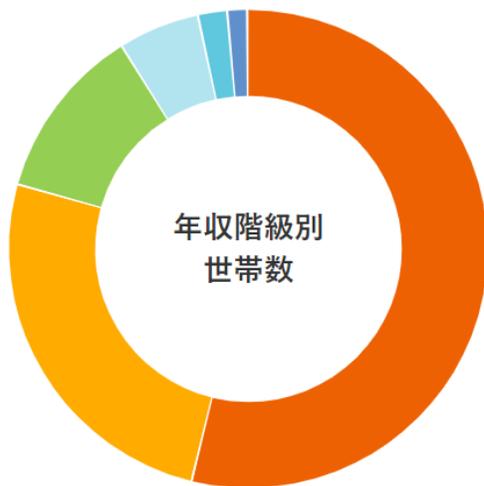
## 処方箋を持たない患者さん

OTCや緊急避妊ピルを求める患者さん

# 当薬局の地域特性

## 別府市の世帯年収データ

📊 年収別階級別世帯数推計



300万円未満	53.9%	300万~500万円未満	25.5%
500万~700万円未満	11.8%	700万~1000万円未満	5.5%
1000万~1500万円未満	2.0%	1500万円以上	1.3%

## 一世帯の年収

全国平均 503万円、大分県 444万円、大分市 474万円、別府市 **406万円**  
全国平均と比べても低く、大分県内でもワースト2、高齢者の1世帯主数も多い

💰 平均世帯年収

社会的に「がんの予防・早期発見」につながる啓発活動も必要

別府市 **406**万円

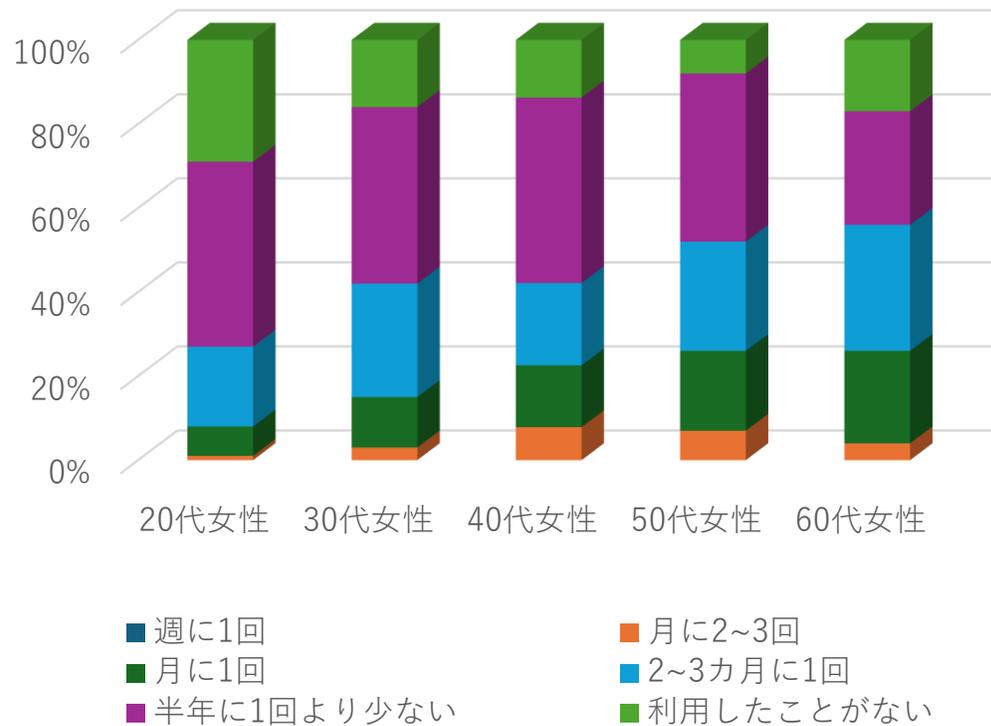
🔍 Search Labs | AI による概要

がんの治療にかかる費用は、がんの種類や治療法、入院・外来などの状況によって異なりますが、平均的な費用は次のとおりです。

- 入院費用の平均（公的医療保険適用前）は約60万円から約170万円
- 外来費用の平均は約3万円から11万円
- 1件あたりの平均医療費は約77万円

# 保険薬局に来られる患者さんの年齢層

薬局の利用状況



中小企業基盤整備機構J-net 21 市場調査データ 調剤薬局より作図

調剤薬局に来店する方のうち、  
最も多い年齢層を教えてください



調剤薬局の需要とサービスについての調査：ゼネラルリサーチ

# 当薬局が行っていること

- がん診療連携拠点病院との「顔の見える関係」
  - 処方箋を持たない地域のがん患者さんの相談
  - がん患者さんの就労支援
  - がん教育
  - がん予防（検診、ワクチン）
- がん等の専門的な薬学管理に係る機関と連携して対応できる薬局
- プライバシーに配慮した構造
  - 連携できる環境
  - フォローアップ
  - 医薬品供給の体制（小分けの実績）
  - 地域に対しての情報提供体制（健康フェアなど）

# 地域の「保険薬局」という情報のサテライト



# 保険薬局で情報を伝えるのは

- 薬剤師
- がん医療ネットワークナビゲーター

ただし、看板を出しているだけでは患者さんには伝わらない



あなたの近くにも

がんの相談をできる人がいます。

日本癌治療学会の認定を受けた  
“がん医療ネットワークナビゲーター”が  
お話を整理し、適切な場所に  
“つなぎ”ます。



# がん医療ネットワークナビゲーター

## ネットワークナビゲーター

- (1)地域におけるがん診療情報や医療サービス情報を収集する
- (2)地域におけるがん診療情報や医療サービス情報を提供する
- (3)地域のがん診療連携活動に参加する
- (4)医療介入またはこれに相当する可能性のある行為は行わない

## シニアナビゲーター

- (1)地域におけるがん診療情報や医療サービス情報を収集する
- (2)がん患者・家族等の求めに応じ、がん診療情報や医療サービス情報を適切に提供する
- (3)地域連携クリティカルパスの運用支援を行う
- (4)臨床試験・治験に関する情報を適切に提供する
- (5)がん診療連携拠点病院の相談支援センターと連携し、地域のがん診療連携活動を推進する
- (6)医療介入またはこれに相当する可能性のある行為は行わない

がんに罹患した患者さんだけでなく予防や検診についての情報提供をすることが可能

<https://www.jsco.or.jp/certifiednavi/>

# がんナビの予防や検診に対する教育



認定がん医療  
ネットワークナビゲーター

## e-LEARNING講義一覧

がん検診の基本的な考え方	齋藤 博
がんの発生と予防/化学予防	岩崎 基
がん医療ネットワークナビゲーターの役割 について	佐々木 治一郎
がん相談支援において必要な知識とスキル	竹山 由子
がん情報の探し方・集め方	渡邊 清高

患者教育

長島 文夫

がん対策基本法

江副 聡

医療倫理に関わる規約・法律・指針/職業  
人としての模範

佐々木 常雄

がん診療のインフォームドコンセント

松岡 弘道

医療事故をめぐる法と倫理

桑原 博道

がんの経過における正常反応と精神症状

加藤 雅志

精神腫瘍学における教育

小川 朝生

心理社会的要因とがんの罹患/生存

中谷 直樹

# 来局者が自身で手に取れる場所 の提供



きっかけは「がんナビ」そこから薬薬連携を活かして  
病院薬剤師の先生方も巻き込んで活動



あそんで まなんで  
サバイバーズ  
文化祭

2025 3/2 SUN  
11:30-16:00  
in 日出町保健福祉センター  
入場無料

人生100年時代!  
もっと知りたい「がん」のこと

私たちが誰でも経験する可能性がある身近な病気「がん」。がん予防と早期発見、そして最新情報まで、まとめて知識をアップデートしませんか?がん拠点病院から先生もお招きしての講演会です。楽しく文化祭で遊びながら、みなさん、一緒に学びましょう。

別府医療センター  
がん治療センター部長  
岡本 龍郎 先生

大分県の人気店がやってくる!  
うきうきマルシェ

楽四季舎

山崎町で大切に育てられたお米を使ったもちもちの栗餅パンやおだんごのほか、産地野菜やお惣菜も並びます。

nico ドーナツ

大豆ペーストや雑穀パウダーなど、こだわりの素材から生まれた優しいドーナツ。カー定制のメニューも!ますますお楽しみに!

がんを経験した「がんサバイバー」による、お楽しみ文化祭。がんサバイバーもそうでないひと、おとなも子ども、日々の経験をわかちあって情報交換するイベントです。目標は見られない嬉しい医療グッズに触れてみたい。おいしい食べ物をたのしんだり...。思い思いに、楽しい1日を過ごしていただければ幸いです。ソロ参加もOK。お友達やお子さんと一緒にでも、ちょっと遊びに来てみませんか?お待ちしております!

先着100名様に  
プレゼントや  
おみやげあり

警察車両に  
乗ろう!

主催: がんサポートグループ CunaJuego  
後援: 大分県 国立病院機構別府医療センター  
日出町 別府大学・別府大学短期大学部  
別府市産業振興会 株式会社アロニア  
NPO法人日本オーガニック産品協会

薬剤師は薬を作っただすだけが  
仕事ではない。

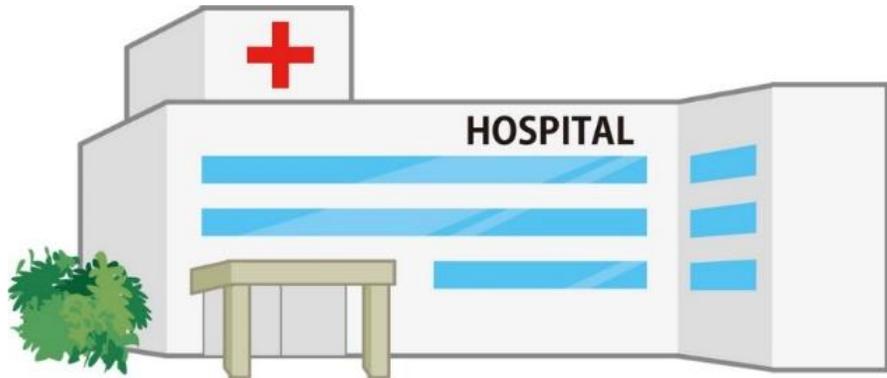
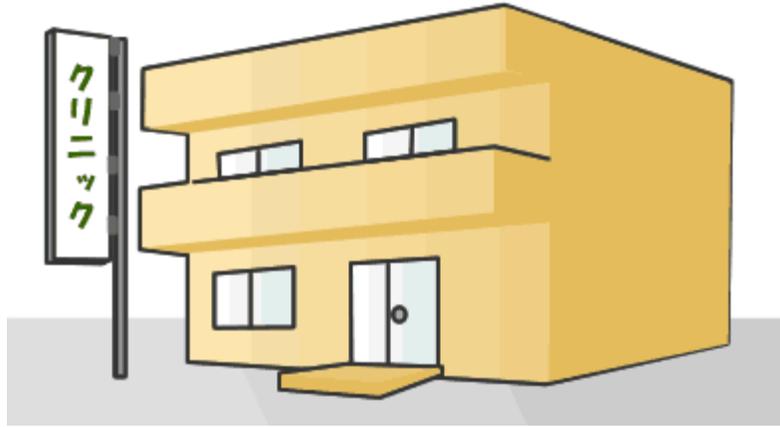
- 保険薬局は処方箋を持ってくる患者さんだけのものではない
- あらゆる健康の情報ステーションでもあるために
- 地域に根差した活動の中で医療職として活動するためにまだまだ模索中です。

### 第一章 総則（薬剤師の任務）

**第一条** 薬剤師は、調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによつて、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする。

在宅緩和ケアにおける連携の重要性

# 保険薬局の状況



患者さんのお宅に伺ったり、健康サポート薬局として地域の患者さんと過ごす中で薬物療法に「生活」が関わってくることが多い。

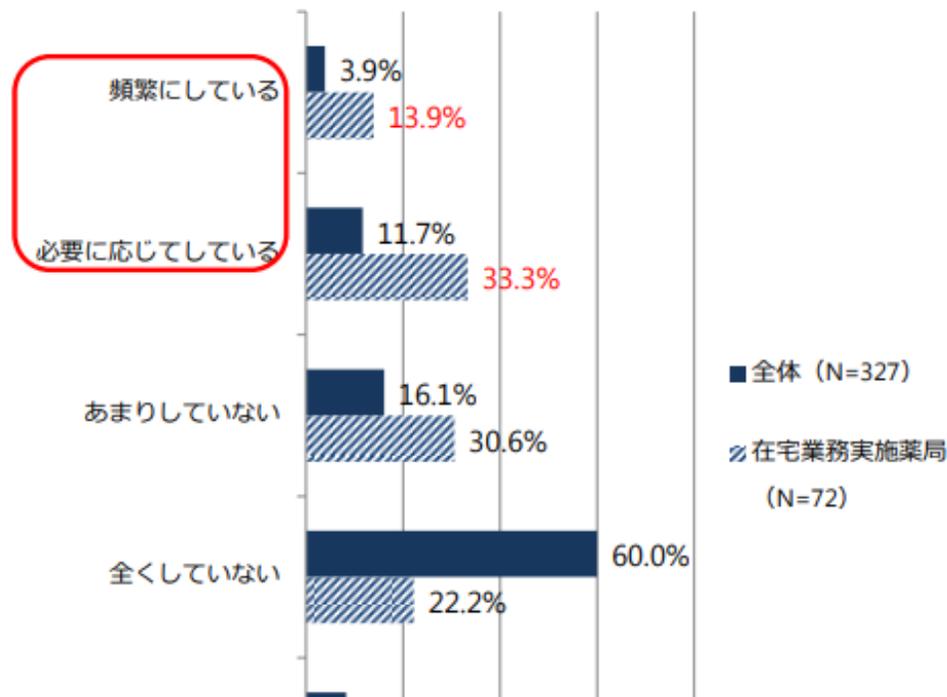
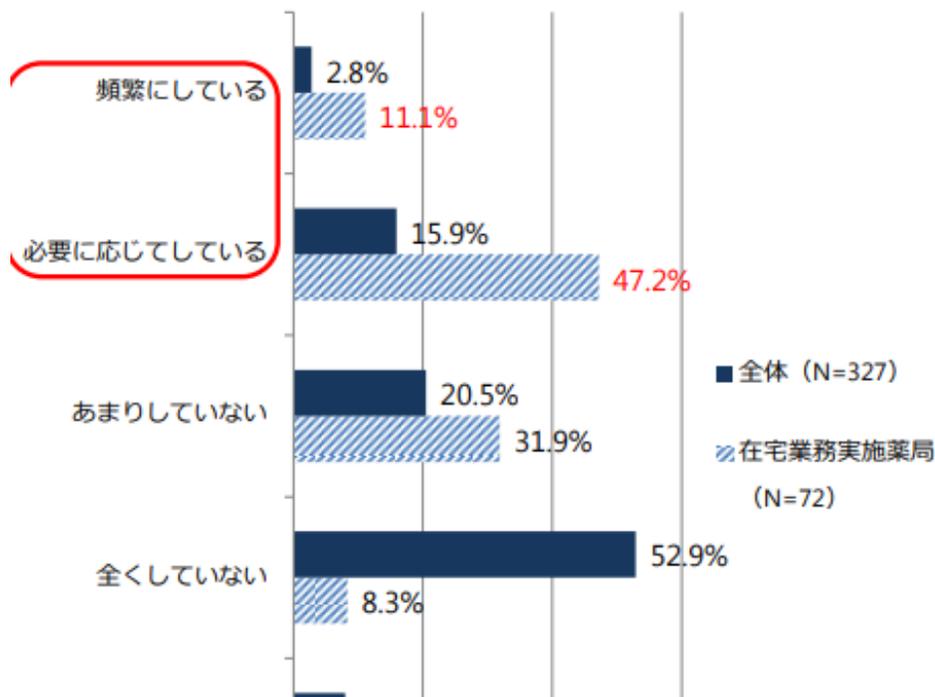


在宅の状況に応じた薬剤について連携をとることで患者さんの不安や疼痛コントロールに寄与することが可能です。

# 在宅実施／非実施薬局における多職種との連携 (本文p14)

介護支援専門員との在宅患者に係る  
日常的な情報交換の状況

訪問看護師との在宅患者に係る  
日常的な情報交換の状況



自宅で安全に療養・治療していただくために  
多職種との連携がさらに必要と考えます。

基準調剤加工と訪問看護ステーションの整備等が要件となっている)を取得している割合が31.9% (非実施薬局は1.6%)

出典)「地域包括ケアシステムにおける薬局・薬剤師による薬学的管理及び在宅服薬支援の向上及び効率化のための調査研究事業」  
(平成26年度老人保健健康増進等事業)

厚生労働省「患者の為の  
薬局ビジョン参考資料」  
[https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11120000-lyakushokuhinkyoku/sankoukou\\_4.pdf](https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11120000-lyakushokuhinkyoku/sankoukou_4.pdf)

# 職種間の連携ってなんだろう？

- それぞれ専門領域はありますが、在宅ではクロスオーバーすることも多々あると感じています。（資源不足において）
- 個人的には医療機器の確保は薬剤師の範疇内でもあるかな、と感じていますが、職種によっては「踏み荒らす」と思われることも少なくないかもしれません。
- 看護師さんが処方提案→薬剤師が動かないから？のこともあるかもしれません。
- 薬局薬剤師がなんで？と思われることがないように事情を説明するように心がけています。

# 薬物療法の変化

- 細胞障害性抗がん剤
- 内分泌療法
- 分子標的薬
- 免疫チェックポイント阻害薬
- 経口抗がん剤の変化
- 医療用麻薬の種類が増加



専門性をもって継続的な関わりが必要

多職種の方々からの情報が薬物療法に大きくかかわることを業務に携わる中で年々強く感じています。

様々な視点からみて、「くすり」を改めて考え直したり、情報提供を行いたいと思っています。

栄養

家族

看護

介護

診断

お金

くすり

木を見て  
森を見ず。



1人のダメな薬剤師



小児在宅、24時間対応を個人経営で行い疲弊している薬剤師は多く存在します。



「薬剤師」全体がダメ。ではありませんので  
ご理解ください！

おわりに

とある緩和ケアセミナーで  
「あなたはどちらで過ごしたいですか？」



病院の天井？

病院のにおい



おうちの天井？

おうちのにおい



「病院と全く同じ」は  
厳しいけれど・・・

少しでも患者さんに安心して  
おうちで過ごしていただ  
けるように薬薬連携、多職  
種連携の中で専門性を発揮  
できればと思います。

おまけ





# 地域からこぼれおちる患者さんをなくす ために



@KIMURA\_PHARMACY

- 薬剤師がそれぞれの置かれた場所  
でできることは多くあると感じて  
います。

ご清聴ありがとうございました。

ありがとうございました

 090-5388-0843

 [muhiki0610@hotmail.com](mailto:muhiki0610@hotmail.com)